

1.計画名称

茅野市健康づくり計画(一般会計分)

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	新型コロナウイルスの影響があったが、2023年度から徐々に以前のように事業を行うことができるようになってきた。生活習慣では、運動不足や食べ過ぎの方が増加しており、今後も個別指導やポピュレーションアプローチにも力を入れていきたい。今後も、高血圧対策、がん検診受診率向上、自殺予防に力を入れていく。また、国保加入者が減少している状況もあり、健診を通じた保健指導は、市民の一部のみ実施している状況にある。今後は、国保加入以外の方への健康づくりの働きかけについて検討をしていく必要がある。
今後の重点化施策番号	2	説明	国保加入者の高血圧者の割合がまだ高い状態となっている。介護の原因となる脳血管疾患を予防するためにも、一番のリスクとなる血圧が高い人を減らす取り組みをしていく。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	がん対策	やや遅れている	国の指針に沿った、胃内視鏡検診の検討を始めた。肺がんレントゲン検診を開始した。75歳未満のがん年齢調整死亡率は、男女ともに減少している。	がん検診の受診率が上がらないこと。	がん検診を受ける人を増やすための方法を検討していく。国の指針に沿った胃内視鏡検診を検討する。
2	循環器疾患対策	やや遅れている	2019年度までは、特定健診の受診率を上げる取組や高血圧の講演会を行うなど順調にできていた。2020年度からは、コロナ禍でもできることを継続し高血圧対策を行ってきた。個別指導を継続。また、広報特集号、高血圧についてのパンフレットを作成し健康教育を行ってきた。	特定健診の受診率を上げてきたが、コロナの影響で下がってしまい、目標に達していない。高血圧者の割合が、県内と比較するとかなり高い状態が続いている。	血圧記録手帳の活用、保健指導内容の工夫により、高血圧のまま放置する人を減らす取組をしていく。高血圧のままいることで体何がおきているか、将来どうなるかイメージできる資料を提示していく。
3	糖尿病対策	おおむね順調	糖尿病管理台帳を作成し、未治療者、治療中断者の把握を行って、保健指導を実施している。また、特定健診等を受診した方の中で、受診が必要な方への保健指導は、全員に実施した。R5年度は、糖尿病性腎症により新規に人工透析になる人はいなかった。	発症予防や重症化予防の保健指導を実施しても、治療中断者やコントロール不良者がいること。	糖尿病管理台帳を作成することで、指導が必要な対象者に地区担当者が必ず保健指導を行うようにする。主治医との連携を行う。
4	生活習慣	やや遅れている	特定健診や保健指導を例年どおり行った。メタボリックシンドローム該当者には、適正体重や生活習慣についての保健指導を教材を工夫して行っている。	男性も女性も肥満の割合が増加している。運動習慣がある人、飲酒、喫煙の割合は、目標値には達していない。	まず、健診を受けていただくように受診勧奨に力を入れていく。生活改善が必要な人が多いため、保健指導についても力量形成を図っていく。
5	こころの健康	順調	自殺対策計画に基づき、心の相談、ゲートキーパー学習会、メンタルヘルス出張講座、SOSの出し方教育等を実施した。庁内や関係機関についても取組をしていただいた	自殺者は減っているが、10～30歳代の自殺率が減っていない。	自殺対策の取組について、進捗管理をしていくことで、庁内や関連機関に取組をすすめていってもらう。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	からだ・こころ・すこやかプラン推進委員会	がん検診について若い年代に周知する工夫が必要ではないか。がん検診をセットにして一度に受けられる機会をつくるのはどうか。こどものころからがん検診が大切であることを学ぶ機会があるとよい。	ラインで周知したり、個別に受診勧奨通知を送ったりしているが、さらに周知できるように工夫していきたい。委員から活発な意見がたくさん聞かれたため、実行できるよう検討していきたい。
開催回数	1		
参加延べ人数	12		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			